



今村 竜喜議員

スーパーマーケットの 村内立地について どのような協議が進んでいるのか

今村議員

令和6年第2回議会定例会時でスーパー「トライアル」を展開するトライアルカンパニーと村内への立地に向けて協議していることが明らかになった。場所は役場周辺を検討していると新聞報道されている。役場周辺は農業振興地域のため農振除外申請や農地転用手続きが必要である。

企業誘致基本計画策定業務委託費1600万円の補正予算が可決、先行投資という形になり結果が伴うよう執行願いたい。

その後、村民の関心は高いが、候補地選定や進捗状況の説明はない。地域住民への説明や地権者への交渉、商工に関する機関との調整や説明も含まれると思うが、進出企業とどこまで協議が進んでいるのか。

農業委員会など 申請手続きに時間を要する。 今後、慎重に進めていく。

村 長

企業誘致基本計画策定業務委託を日本工学都市空間株式会社九州支社と契約し、役場北側4.6haを中心に「農村地域への産業導入に関する法律」に沿った基本計画策定に向け現在、周辺の排水状況等の調査を行っている。来年度、農業委員会への申請等を行うこととなる。

基本計画には店舗の位置や排水計画等が必要、今回導入を計画している産業及び小売業による地元からの雇用計画などを反映することとされているので、小売業の店舗の位置、規模など協議を進めていくこととしている。

公共施設の利活用できないか

今村議員

熊本地震後に復興事務所として使用した旧長陽庁舎は活用できないだろうか。建物もそのまま使用できるとは思わないが、約100台収容できる駐車場もある。

普段は中学生の送迎で朝、夕は多くの往来で混雑している。

平日でも十分需要が見込まれると思う。

休日はツインアリーナ・中学校体育館利用者やグラウンドでの練習や試合の場合は多くの方々が来られており、場所を提供しテストショップとして提案できないか。

役場の近くが良いという 判断で動いている

村 長

多くの人が役場には来られるという点と郵便局も近くにある、乗合タクシーが公共施設（役場）であれば半額で来れる。これから買い物弱者が増えるのは確実である。

公共施設を有効に使う方法も考えなければならぬ。費用対効果も含め慎重に考えて行きたい。



調査中の役場北側部分（調査費1210万円）